

計画段階評価対応方針

【河川事業】

実施箇所 実施主体	解決すべき課題等	達成すべき 政策目標	複数案との比較	対応方針
関川水系保倉川 下流部における 治水対策 北陸地方整備局	・保倉川下流部において、河川 整備計画変更原案の目標流量 を計画高水位以下で安全に流 下させることができない。	・保倉川下流部の治水安全度向 上	・保倉川下流部において、河川整備計画変更原案の目標 流量を計画高水位以下で安全に流下させることが達成可 能で、現状において適用可能な方策について複数案を検 討し、5案の治水対策案を抽出。 ・5案の治水対策案のうち、現状において実現可能な案 であるかの観点で概略評価を行い、下記の3案を抽出。 ・下記の3案について、7つ評価軸(「治水安全度」、「経済 性」、「実現性」、「持続性」、「柔軟性」、「地域社会への影 響」、「環境への影響」)により総合評価を実施した。 案① 保倉川800m ³ /s(掘削なし)+放水路900m ³ /s 案② 保倉川1,700m ³ /s(河道掘削) 案③ 保倉川800m ³ /s(掘削なし)+遊水地900m ³ /s	3案のうち、経済性の観点で最も 有利で、地元住民や関係機関等 からもご理解をいただいております 実現性の課題はなく、維持管理に より持続性の課題もない、「案 ①」による対策が妥当。